

一定の投資性金融商品の販売・販売仲介に係る「重要情報シート」（個別商品編）

2024/1/16現在

1. 商品等の内容（当金庫は、組成会社等の委託を受け、お客様に商品の販売の勧誘を行っています）

金融商品の名称・種類	しんきんJリートオープン（毎月決算型）・証券投資信託
組成会社（運用会社）	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
販売委託元	しんきんアセットマネジメント投信株式会社
金融商品の目的・機能	国内の金融商品取引所上場の不動産投資信託証券に投資することにより、投資信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指して運用を行います。
商品組成に携わる事業者が想定する購入層	中長期での資産形成を目的とし、元本割れリスクを許容する方を想定しています。
パッケージ化の有無	当ファンドの実質的な投資対象であるJリートは、上場投資信託であり、当ファンドは複数の投資信託に投資する投資信託（ファンド・オブ・ファンズ（FOFs））に該当します。当金庫においては上場投資信託を個別の金融商品としてご購入いただくことはできません。
クーリング・オフの有無	クーリング・オフ（契約日から一定期間、解除できる仕組み）の適用はありません。

- （質問）
- ① リートとは何ですか。商業不動産（ホテル・オフィスビル等）自体とは異なりますか。
 - ② 名称にある「オープン」とは、どのような意味ですか。
 - ③ 分配金を再投資することのメリットは、どのような点にありますか。

2. リスクと運用実績（本商品は、円建ての元本が保証されず、損失が生じるリスクがあります）

損失が生じる リスクの内容	<価格変動リスク> 株価は、政治・経済情勢、発行体の業績、市場の需給等を反映して、短期的・長期的に大きく変動する。組入銘柄の株価が下落した場合には、基準価額が下落する要因となります。
	<不動産投資信託のリスク> 不動産を実質的な投資対象としているために、他の金融商品と異なり、火災・自然災害や不動産に係る法制度の変更などの影響を受けて投資先の不動産の価値が変動する場合があります。
	<信用リスク> リートは一般の法人と同様に倒産のリスクがあり、リーートの経営や財務状況が悪化した場合、リーートの価格が下落することがあります。
	<流動性リスク> 市場規模が小さいまたは取引量が少ない場合、市場実勢から予測される時期または価格で取引が行えず、損失を破る可能性があります。
過去1年間の収益率	-4.8%（2023年7月末現在の騰落率）
過去5年間の収益率	平均5.3% 最高31.3%（2021年4月末）最低-25.0%（2020年10月末） （2018年8月～2023年7月の各月末における直近1年間の騰落率）

※ 損失リスクの内容の詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の8ページから9ページ、運用実績の詳細は交付目論見書の10ページから11ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ④ この商品は、どのようになると価格が値下がりしますか。
 ⑤ 不動産市場の中で、基準価額に大きく影響を与える要素は何ですか。

3. 費用（本商品の購入又は保有には、費用が発生します）

(税込)

購入時に支払う費用 (販売手数料など)	窓口購入	インターネット購入
	2.20%	1.54%
継続的に支払う費用 (信託報酬など)	信託報酬：年1.045%	
運用成果に応じた費用 (成功報酬など)	ありません。	

※ 上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページに記載しています。また、本シート作成日に使用している交付目論見書に基づき記載しています。

- (質問) ⑥ 信託報酬は、誰に支払われるのですか。
 ⑦ この商品は、どの信用金庫でも同じ購入手数料となっているのですか。

4. 換金・解約の条件（本商品を換金・解約する場合、一定の不利益を被ることがあります）

この商品の償還期限はありません。但し、繰上償還を行う場合があります。

この商品をお客様が換金・解約しようとする場合、解約手数料は生じませんが、信託財産留保額として0.3%をご負担いただき、信託財産内に留保します。

証券取引所の停止等により換金や解約ができないことがあります。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の13ページに記載しています。

- (質問) ⑧ この商品の解約申込をした日から、何日後に資金が入りますか。

5. 当金庫の利益とおお客様の利益が反する可能性

当金庫がお客様にこの商品を販売した場合、当金庫は、お客様が支払う費用（販売手数料、信託報酬）のうち、組成会社等から0.495%の手数料を頂きます。これは販売時のコンサルティング（販売仲介など）の対価としていただきます。

当金庫は、この商品の組成会社等との間で出向等の人間関係および資本的関係がありません。

「重要情報シート」のフォーマットのとおり、当金庫の営業職員に対する業績評価上、この商品の販売が他の商品より高く評価されるようなことはありません。

※ 利益相反の内容とその対処方針については、ホームページ「顧客本位の業務運営に関する原則」の「取組方針」をご参照ください。

(URL) <https://www.numashin.co.jp/policy/files/fiduciaryduty.pdf>

- (質問) ⑨ あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。

6. 租税の概要（NISA、iDeCoの対象か否かもご確認ください）

分配時、配当所得として普通分配金に対して20.315%、換金（解約）時および償還時は、譲渡所得として、換金（解約）時および償還時の差益（譲渡益）に対して20.315%が課税されます。

※ 詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の14ページに記載しています。

7. その他参考情報（契約にあたっては、当金庫Webサイトに掲載された次の書面をよくご覧ください）

- ・ 販売会社（当金庫）が作成した契約締結前交付書面【目論見書補完書面】
(URL①) <https://www.numashin.co.jp/kojin/unyo/files/mokuromisyo.pdf>

※ PDF形式で掲載しています。

①



- ・ 組成会社が作成した【目論見書】
(URL②) <http://www.skam.co.jp/fund/detail/id=29>

※リンク先は、当金庫が運営するホームページではありません。

当金庫はリンク先の表記等について保証するものではなく、一切の責任を負いません。

②



契約締結に当たっての注意事項等をまとめた契約締結前交付書面【目論見書交付書面】、金融商品の内容等を記した【目論見書】については、ご希望があれば、紙でお渡しします。



商号等/沼津信用金庫 登録金融機関 東海財務局長(登金)第59号

<質問回答例>

しんきんJリートオープン（毎月決算型）

	<質問>	<回答例>
①	リートとは何ですか。商業不動産（ホテル・オフィスビル等）自体とは異なりますか。	商業不動産を取得する投資法人という会社があり、この投資法人の発行する上場投資証券をリートと呼びます。当商品はその上場証券が投資対象です。
②	名称にある「オープン」とは、どのような意味ですか。	オープン型は追加型ともいい、いつでも購入できるという意味です。これの反対がユニット型・単位型といいます。ファンド休業日にはご注意ください。
③	分配金を再投資することのメリットは、どのような点にありますか。	再投資型は、購入手数料なしで口数を増やしていくことができます。口数の増加によって配当額も増加しますので、複利運用効果が生じます。
④	この商品は、どのようになると価格が値下がりしますか。	投資対象銘柄の市場価格が下落することが主ですが、それ以外にも投資対象銘柄が債務不履行となる信用リスク、市場の混乱で一時的に資金化が制限される流動性リスクもあり得ることと言えます。
⑤	不動産市場の中で、基準価額に大きく影響を与える要素は何ですか。	間接的な投資対象となる、オフィスビル・ホテル・ショッピングモールなどの賃料水準の下落・空室率の増加などが、基準価額のマイナス要因となります。
⑥	信託報酬は、誰に支払われるのですか。	商品の組成会社（運用会社）・信託銀行・販売会社が、折半して受け取るようになります。
⑦	この商品は、どの信用金庫でも同じ購入手数料となっているのですか。	実際には多くの信用金庫で同率となっているようですが、購入手数料は各販売会社が一定限度内で任意に設定するものとされておりま。
⑧	この商品の解約申込をした日から、何日後に資金が入りますか。	この商品は国内市場となるので（月曜日）申込、（木曜日）資金化となります。
⑨	あなた方のお奨めが、この商品と考えればよいですか。	お客様ごとに、資産の状況やライフプランの考え方は異なりますから、一律に同じ商品を推奨することはありませんので、ご安心ください。